

台車にき裂が見つかった事象の原因と対策について

2023年2月15日、吹田総合車両所にて台車にき裂が見つかった事象につきまして、原因と対策をお知らせいたします。

お客様にご不安な思いをおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発見日時

2023年2月15日（水）10時00分頃

2 当該車両

223系車両

3 概況

吹田総合車両所における定期検査にて、当該車両の台車にき裂のようなものを認めました。調査の結果、長さ112mmのき裂であることが判明しました。

- ・当該箇所：主電動機の位置決めをする部材（電動機受）の溶接部の一部
き裂1箇所（長さ112mm）
- ・材質：鋼材

4 原因

台車製造時の溶接不良のためです。

5 対策

定期検査時に、同形式台車の磁粉探傷試験によるき裂の確認を行います。

6 その他

- ・き裂が見つかった箇所は車体荷重を支える部位ではありませんので、列車の走行に影響を与えるものではありません。
- ・主電動機自体は台車と溶接されている部品とボルトで締結されているため、落下する恐れはありません。

←大阪

1号車

2号車

3号車

4号車

米原→

き裂発見箇所



当該箇所（調査後）

